



編集・発行：千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内

TEL 273-1111
内線 4133

認め合い 安心して手を振る子どもたち

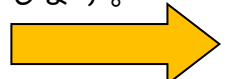
今年度、「ちくま青パト隊」の愛称で、子どもたちを見守っている少年補導委員。「青パト隊の人」として、子どもたちにも知ってもらえるようになってきました。

ちょっとコワイ印象のある「補導委員」から、子どもたちに安心して接してもらえる「ちくま青パト隊」になるためには、どうアプローチしていったらいいのでしょうか。



今回は、各小学校での見守りの様子から「ちくま青パト隊」の活動を紹介します。

それぞれの小学校区での様子は2・3ページへ



「大きな桜の木の下で」

稲荷山児童センター館長 池田 武子

稲荷山児童センターは、四季の自然の移り変わりが一目でわかる《大きな桜の木》がシンボルになっています。

春には、淡いピンクの花が優しく児童を迎えてくれます。木の下には大きな砂場も設置されています。『ただいま』と来館した子ども達は、



宿題を済ませると外に飛び出して行き、豊かな自然の中で思う存分体を動かして遊びます。室内でも工作、体育遊びをしたり、音楽に親しんだり、諸々のゲームや、飼育している小動物の観察をしたり：楽しく過ごしています。が、やはり子ども達は、外遊びが好きなようです。

連休明け頃には、葉桜になった桜の木の下で、心地良い風を感じながら、思い思いに友達と遊んでいます。雨の多い時期も梅雨の晴れ間には、ダンゴムシやカタツムリ探しに夢中です。

夏には、桜の木の枝の隙間から降り注ぐ木漏れ日を浴びながら、クワガタやセミを捕まえたり：。秋には美しく紅葉した葉っぱがひらひらと舞い落ちるのを見て、葉っぱ集めやママゴト遊びに興じたり：「だるまさんが転んだ」「花いちもんめ」などの伝承遊びで盛り上がったりしています。

子どもたちは、このような自然豊かな環境の中で、感性を磨き、四季折々の美しさを体いっぱいと感じながら、日々たくましく過ごしています。

年輪を重ねた太くて大きな桜の木の下で、四季の変化を感じながら、一人ひとりの安心安全な居場所として学年の枠を超え仲間作りをしながら仲良く過ごして行かれるよう、私共は子ども達の成長を見守りながら共に歩んでいます。

《大きな桜の木の下で》今日も楽しそうな声が響いています。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 自然から学ぼう心の豊かさを —

「ちくま青パト隊」と子どもたち



年度初めに行った紹介式の効果もあり、子どもたちが「青パトの人だ!」と認め、安心して手を振ってくれたり、お話をしてくれたりするようになりました。そんな様子を学校ごとにお知らせします。



屋代小学校では、4月28日にあいさつ運動を行いました。また、地域の見守り隊の方と一緒に、子どもたちに紹介をしていただきました。



東小学校の紹介式は、5月16日でした。下校時刻に合わせてのあいさつもしています。7月5日の「交通安全の日」の下校にも参加しました。



埴生小学校では、4月の集団下校に参加。また、7月は参観日後の下校であったため、保護者の方にも青パト隊の活動を見ていただけました。



治田小学校では、下校の時に紹介をしていただきました。青パトがスピードを落として、車から手を振ると、子どもたちが手を振り返してくれました。



八幡小学校校門で青パト隊が手を振ってあいさつします。右側の写真は夏休みの合同補導です。学校の先生、保護者の方も一緒に巡回しました。



上山田小学校の紹介式は4月11日でした。安全協力員の方や校長先生と手を振ってあいさつ。下校時も元気にあいさつしてくれます。



更級小学校の紹介式は青パトの前で行いました。6月には他地区の青パト隊が更級小であいさつを行いました。手を振って笑顔になりました。



戸倉小学校の紹介式は4月でした。全校児童が迎えてくれました。下校時、校門で待っていると、1年生が元気に手を振ってあいさつしていきます。



五加小学校区には、遊びやすい公園があり、多くの子どもたちが外で遊んでいます。青パト隊は声がけしたり安全面のチェックをしたりしています。

<ちくま青パト隊の声>

☆下校後、子どもたちを追って通学路を巡回していくと、また車に向かって手を振り笑顔を見せてくれる。窓を開け、「気をつけてね。」と声をかけ、安全に家に帰ることを願いました。活動をしていてうれしくなる瞬間です。

☆紹介していただいたおかげで、青パト隊が認知され、あいさつしたり手を振ってくれたりします。横断歩道では、手を挙げて渡り、「ありがとうございました。」と元気にあいさつ。その姿に感心しました。

☆千曲市ホームページでも情報を公開しています☆

千曲市→組織から探す→生涯学習課→安全・安心→防犯・安全を開く

育成センターだよりを掲載しています

青少年育成事業（3）で、**明るい家庭づくりの情報**を月ごとにお届けしています



～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「みんなを笑顔に」 上山田小学校 6年 山崎 結

私の将来の夢は「助産師として新しい命の誕生に携わり、みんなを笑顔にしたい」ということです。私は、昔から赤ちゃんや小さな子どもが大好きです。母親からは「あやすの上手だね」と言われて、子どもに関係する仕事をしたいと思っていました。そして、理科の生命の誕生で出産について学んだ時、とても感動して「助産師になりたい」という夢ができました。

また、私は助産師になるだけではなく「みんなを笑顔にしたい」という夢があります。夢実現のために、積極的に近所の小さな子どもと一緒に遊んだり、祖父母のお手伝いをしたりしています。これからも思いやりの心を大切にして、命について学びたいです。

「私の憧れの職業」 埴生小学校 6年 中村 碧

私の憧れの職業は警察官です。警察官に憧れている理由は二つあります。一つ目は、私たちが住む街を守ろうという心が伝わってきてカッコいいからです。日々様々な事件を解決したり、犯罪から人々を守ったりすることは簡単ではないと思いますが、精一杯頑張ります。二つ目は、努力家なところです。警察官は法律などの勉強だけではなく、沢山運動をして体力もつけなければいけません。さらに、警察官になるためには厳しい試験に合格する必要があります。その試験も乗り越えた警察官は本当にかっこいいです。憧れの職業になるためには様々な試練が待っています。私はその夢を叶えるためにどんな試練にも負けず、努力していきたいと思います。

「わたしがやりたいこと」 屋代中学校 3年 足立 真依

私は、10か月前までは、英語の勉強に消極的でした。理由は、日本で生まれて、これからも日本で生活していくと思っていたからです。しかし、留学生を家に受け入れたことで、その考えが一変しました。

英語や様々な言語を学び、会話することで世界中の人々とつながることができると感じました。また、いろいろな人々と接することにより、様々な価値観や文化に触れることができ、自分自身も成長することができます。私もいつか留学して、本やインターネットで得た知識だけでなく、実体験から多くのことを学び、それを活かして人の役に立ちたいと思います。

教育相談・生活相談のご案内



千曲市では、次のような相談窓口を開いています。
ちょっとした不安、疑問、お気軽にお電話ください。秘密は守られます。

児童・生徒の教育や発達について

＜市総合教育センター＞
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105
平日9:00～17:00

青少年の生活について

＜千曲市役所＞
少年育成センター（生涯学習課内）
電話 273-1111（内線 4133）
E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp